

カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

- 背部： を押すと背もたれ部が起き上がります。
 を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。
- 脚部： を押すと脚部が上がります。
 を押すと脚部が下がります。

2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて回転させ、お好みの状態(脚もみ、フットレスト)でお使いください。

3 自動 を押し、お好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

4 自動コースを選択すると脚部上がり、もみ玉が肩位置を自動的に検知します。

検知した肩位置は、**調節** を押して変更できます。



自動コースの種類

- 全身** 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 肩** 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。
- 腰** 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。
- ストレッチ** ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

- 調節 でお好みの高さに調節します。
- 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

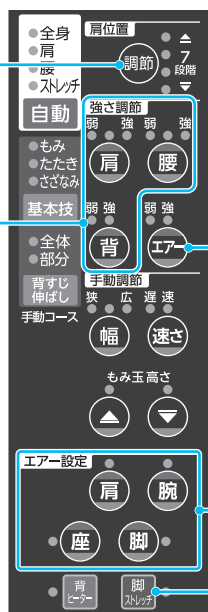
- 肩 でお好みの強さに調節します。
- 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

- 背 でお好みの強さに調節します。
- 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

- 腰 でお好みの強さに調節します。
- 腰強さは、5段階から選択できます。



エア強さを調節したいとき

- エア でお好みの強さに調節します。
- エア強さは、2段階から選択できます。
- ※ エアの強さ調節は、部位ごとに調節できません。

肩・腕・座・脚エアを「入・切」したいとき

- 肩 腕 座 脚 を押します。
- それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- ※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

- 脚 ストレッチ を押します。
- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
- ※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。
- ※ 脚ストレッチが「入」の状態では脚エアを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ		
強さ	ランプの点灯	
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア)
弱 1	○ ● ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ● ●	● ○
3	● ○ ● ● ●	○ ● ●
4	● ● ○ ● ●	○ ● ● ●
強 5	● ● ● ● ●	○ ● ● ● ●

○…点灯
●…消灯

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

- 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・ブレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓 [そく (塞) 栓] 症、重度の動脈りゅう (瘤)、急性静脈りゅう (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)
- 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れさせない。
- 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。